



Panasonic®

施工説明書

エントランスポール

Archi Frame J type

ジェイ タイプ

アーキフレーム

このたびは、パナソニック製品をご採用いただき、まことにありがとうございます。

■施工説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に施工してください。

特に「安全上のご注意」は、**施工前に必ずお読みください。**

■施工説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。

■この商品は日本国内専用品ですので、日本国外での設置はしないでください。

■同梱されている取扱説明書は必ず施主様へお渡しいただき、使用方法、メンテナンスなどの説明をしてください。

もくじ

●安全上のご注意	表紙	●施工手順	
●施工上のご注意	2	ポール本体の施工	4
●同梱部品	2	天板(LEDユニット付)との結線	5
●製品納まり図	2	〈カメラ〉ドアホン子機への配線	6
●施工前の確認	3	ポスト/宅配ボックスの取り付け	6
		●施工後の確認	裏表紙





安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	 してはいけない内容です。
 注意 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。	 実行しなければならない内容です。



警告

 分解禁止	商品の仕様および用途変更・改造は絶対しない けがの発生や事故のおそれがあります。	 必ず守る	商品の施工は、施工説明書に従い確実に 火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。
--	---	---	---

注意

 必ず守る	LEDユニットの、100V電源は漏電ブレーカーを介して接続し、D種(第3種)接地工事を必ず実施する 感電事故のおそれがあります。	 必ず守る	施工後、ねじ類の締め具合をもう一度点検する ねじ締め不足により、思わぬ事故が起きたり、故障の原因となります。
	主電源を切ってから施工を行う 感電のおそれがあります。		部材が重量物の場合、運搬・取付作業は2人以上で行う けがのおそれがあります。
	ポール下部の水抜き穴はふさがらない 雨水の浸入により漏電、感電、故障、腐食などの原因となります。		

施工上のご注意

 禁止	通行の妨げとなる場所には設置しないでください。 けがの原因となります。 ※特にポストや宅配ボックスの扉を開いた時に道路や通路の通行の妨げにならないようご注意ください。	 必ず守る	基礎穴および埋め込み深さは基準通りに設けてください。 強度不足によりけがのおそれがあります。
	商品にはぶら下がらないでください。 けが・故障の原因となります。		商品に付着したリシンやモルタル・コンクリートなどは速やかに清掃してください。 塗装がはげたり、腐食の原因となります。
	固いものを当てたり、強い衝撃を与えないでください。 表面に傷をつけると、腐食の原因となります。		アルミ製品に銅板やラスなどの異種金属が接触しないように絶縁処理をしてください。 アルミの腐食促進作用があります。
	モルタル急結剤、海砂などでは使用しないでください。 アルミの腐食促進作用があります。		ポール内への水溜まり防止のため、基礎部に栗石を敷いてください。 電気部品の故障の原因となります。
	ホースによる直接の水洗いはしないでください。 故障の原因となります。		
	施工時の汚れ落としにシンナー、塩酸などは使用しないでください。 腐食の原因となりますので中性洗剤を使用してください。		

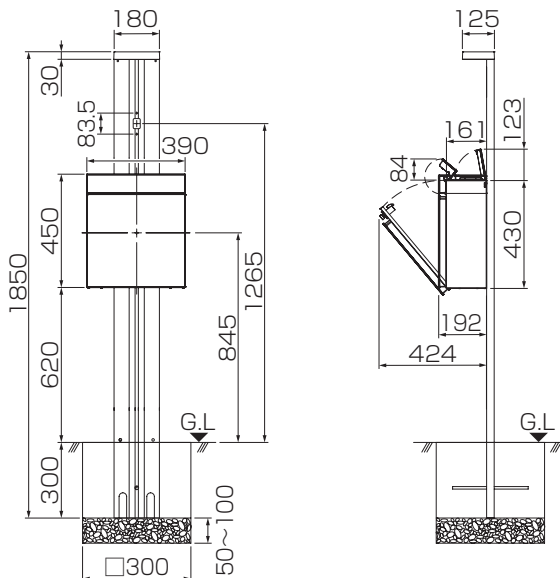
同梱部品

後付商品用に使う 取付ねじ (ポール取付済)	ドアホン用 なべ小ねじ(M4×10)	2本	ドアホンカバー	1枚(両面テープ付)
	ポスト取付用 なべ小ねじ(M4×10)	4本	施工説明書・取扱説明書	各1
	照明取付用 特殊皿ねじ(M4×10)	2本	表札チラシと注文はがき	1セット
ポスト取付用 セルフドリリングねじ(Φ4×13)		2本		

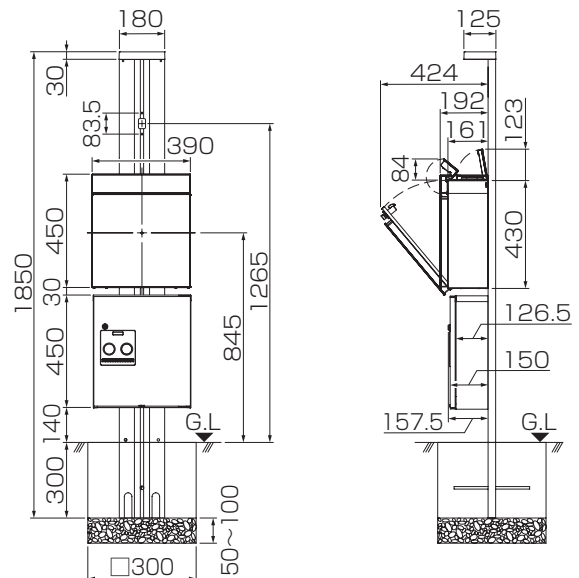
※ドアホン、カメラドアホンを取り付けしない場合は、目隠しパネル(別売)を取り付けてください。

製品納まり図 ※ポスト・ドアホン・宅配ボックス・表札は別売となります。

ポスト(パケモUF)取付



ポスト(パケモUF)・宅配ボックス(コンボ コンパクト)取付



施工前の確認 (「照明(LEDユニット)」「ドアホン・カメラドアホン」をつける場合)

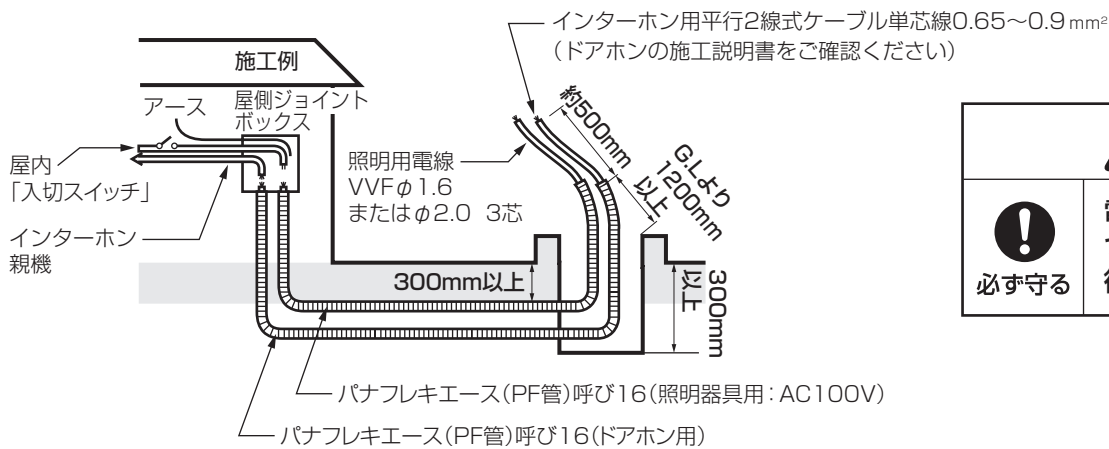
電気配線工事

はじめに

- 電気配線工事は専門の電気工事店にご依頼ください。
- 照明用電線と信号線は電線管による離隔が必要です。
- 照明用電線は、VVFφ1.6またはφ2.0の3芯単線（アース線含む）信号線（ドアホン、カメラドアホン用）は、インターホン用平行2線式ケーブル単芯線0.65~0.9mm²を準備してください。
- 接地工事は、電気設備の技術基準に従い、確実に行ってください。
- 室内に「入切スイッチ」を別途に設けてください。

配管工事 (各部材は現場手配となります)

- ポール建て位置へあらかじめPF管を埋設してください。



⚠ 注意	
! 必ず守る	電線管(PF管)埋設工事については、内線規定に従う

ポール施工前のご確認事項

天板(LEDユニット付)は明るさセンサー(自動点滅器)が内蔵されています。
次のような場所には取り付けないでください。(明るさセンサー誤動作の原因となります。)

- 昼間でも暗い場所・・・明るいうちに点灯し、朝、消灯が遅くなることがあります。
- 夜間でも明るい場所・・・点滅したり、点灯しないことがあります。
- 車のヘッドライトや他の照明の光が明るさセンサーに直接あたる場所・・・点滅することがあります。
- 明るさセンサーに自然光が入りやすい向きに器具を取り付けてください。
- 天面、側面から50cm以内に障害物がないように取り付けてください。
(障害物があると部材の交換ができなくなります。)
- 明るさセンサー側は器具側面から50cm以内に障害物がないように取り付けてください。
(障害物があると点滅を繰り返すことがあります。)

	明るさセンサー側は50cm以内に障害物がないよう取り付けてください。 また、植栽などは50cm以内にならないよう定期的に手入れをしてください。
お願い	
●明るさセンサーの位置は各タイプにより異なります。 各タイプの明るさセンサー位置を確認ください。 (5ページ参照)	

施工手順 〔寸法単位：mm〕

ポール本体の施工 （ポール本体と天板は別梱包となっております。）

1 埋め込み穴の確保

- 決められた寸法の基礎穴を掘り、本体内水溜まり防止のため、50～100mmの栗石を必ず敷く。

【参考基礎寸法】 寸法単位：mm

W × L	商品寸法(柱)
300 × 300	180 × 30

2 配管工事 ❗ 電気工事店様にご依頼ください。

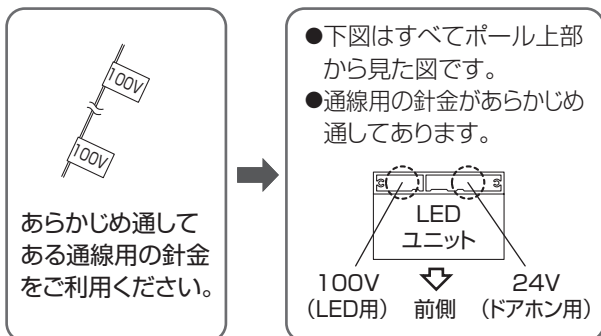
- ポール内部に配線するために、電源線(照明用)および信号線(ドアホン子機用)を通したPF管をあらかじめ立ち上げておく。
PF管：GLより500mm以上
信号線：照明やドアホン高さまで届く長さを必ず確認ください。(推奨：PF管端部より1200mm以上)

3 エントランスポール本体を立てる

- PF管内の電線を引き上げて、照明・ドアホン用の穴に通す。(下図参照)
- ポールを立て、埋め込み位置、高さ、垂直度、水平度を調整し、添え木などで固定する。

■電線管(電線)の通しかた

※天板(LEDユニット付)の場合



4 埋め戻し

- コンクリートで埋め戻し固定する。

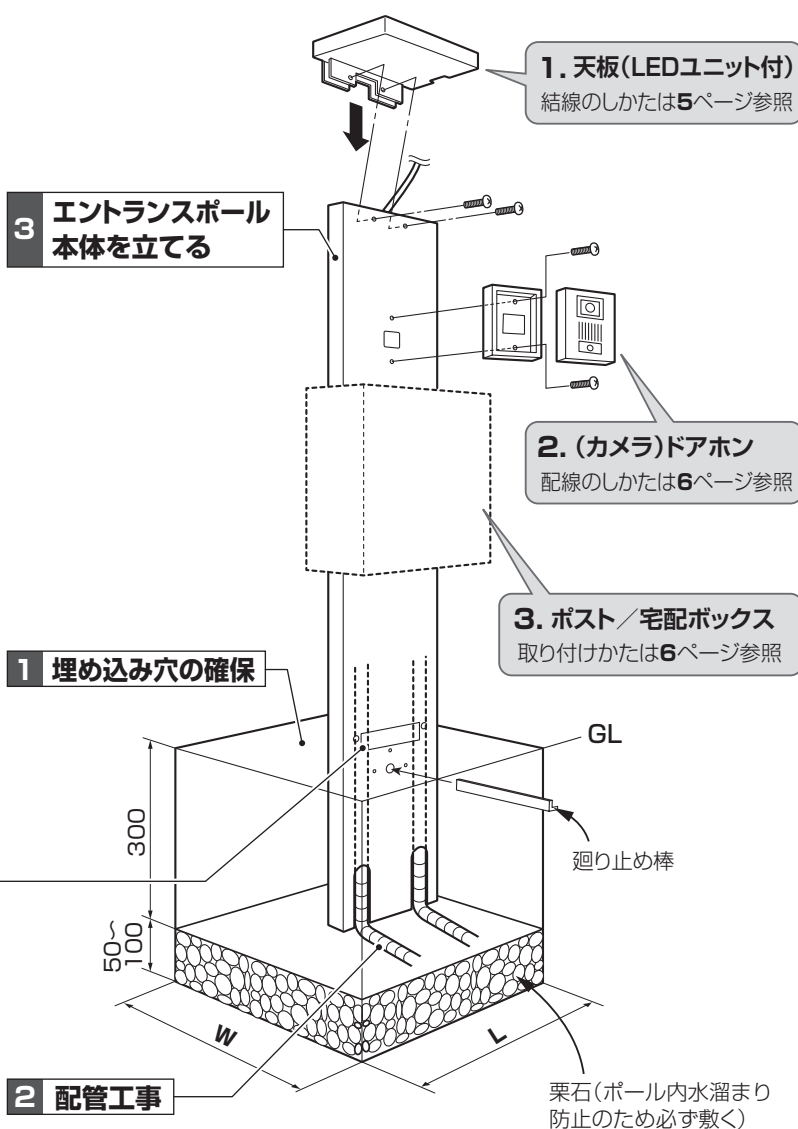
⚠ 注意

❗

必ず守る

GLラインより深く埋め込まない
雨水の浸入により漏電、感電、故障、腐食などの原因となります。

水抜き穴をコンクリートや土砂でふさがない
●雨水の溜まりにより漏電、感電、故障、腐食などの原因となります。
●万が一埋めた場合はGLより上に同一形状で追加の穴を必ずあけてください。



お願い

- 電源線と信号線は別々の配管で施工してください。

■各部位の施工 ➡ 5～7ページへ

1. 天板(LEDユニット付)との結線
2. (カメラ)ドアホン子機への配線
3. ポスト/宅配ボックスの取り付け

施工手順 〔寸法単位：mm〕

各部位の施工

1. 天板(LEDユニット付)との結線(50/60Hz共用)

⚠ 接地工事は、電気設備の技術基準に従って確実に行ってください。

⚠ 注意



取り付けの際は、安全のため電源を切る
通電状態で行うと感電の原因となります。

お願い

- 電線は確実に奥まで差し込んでください。
- 張力止めで電源線を固定してください。

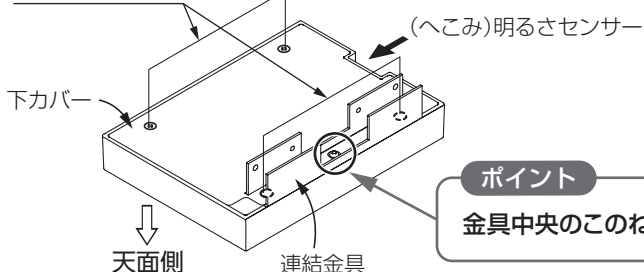
LED仕様

定格周波数：50/60HZ
定格電圧：AC100V
入力電流：0.035A
入力電力：2.2W
使用環境：-10℃~40℃(周囲温度)

① ねじを外し、下カバーを外す。

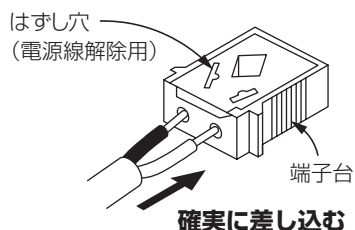
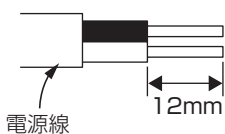
※連結金具「中央のねじ」は外さないでください。

ねじをゆるめ
下カバーを外す

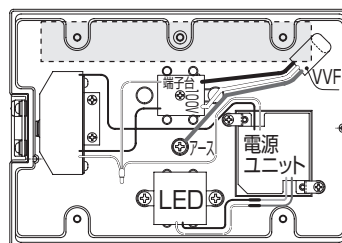


② 端子台に電源線 (AC100V) を接続する。

適合電線
VVFφ1.6、φ2.0単線



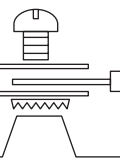
■配線状態



③ アース接地工事をする。



アース



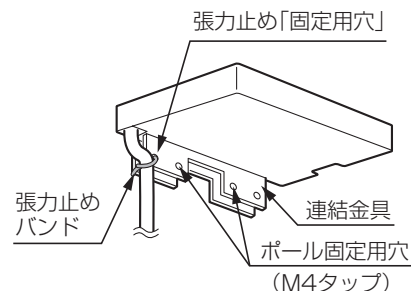
接地端子ねじから
D種(第3種)接地工事を
行ってください。

④ ポールへ取り付ける。

④-1 ①で外した下カバーを元に戻し、ねじで固定する。

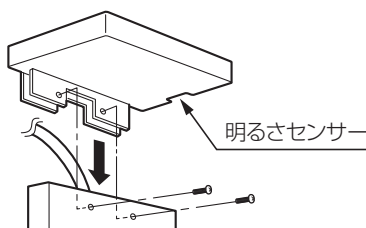
④-2 張力止め(下カバーに添付)で電源線を連結金具の固定用穴に固定する。

④-3 天板(LEDユニット付)の連結金具をポールに差し込み、ねじで固定する。



お願い

- ねじの締め付け不足にご注意ください。
- がたつきやすき間など故障の原因になります。

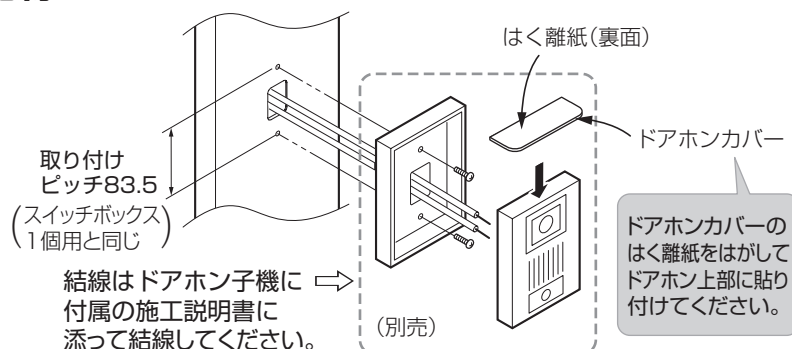
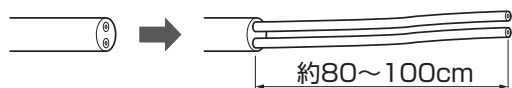


施工手順 〔寸法単位：mm〕

2. 〈カメラ〉ドアホン子機への配線

通線をしやすくするポイント

コードは、先端部を約80cm～100cm程外皮を取り除いてポール内に配線してください。

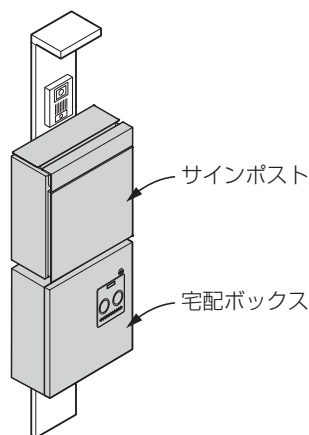


3. ポスト／宅配ボックスの取り付け

■取り付け可能製品

サインポスト：パケモUF
フェイススFF
クリアスFF
ユーロバック

宅配ボックス：コンボ（コンパクトタイプ）
※コンボコンパクト取付タイプのみ

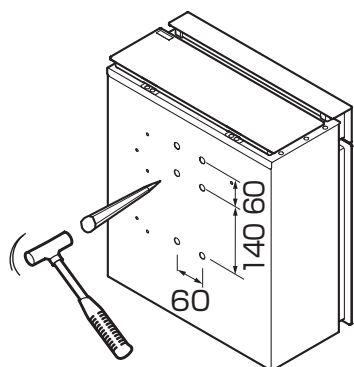


■ポストの取り付けかた（パケモUFの場合）

お願い ●先にドアホンを取り付けてからポストを取り付けてください。
(ポストを先に取り付けるとドアホンが取り付けにくくなります。)

品番：CTC2600□Kの場合

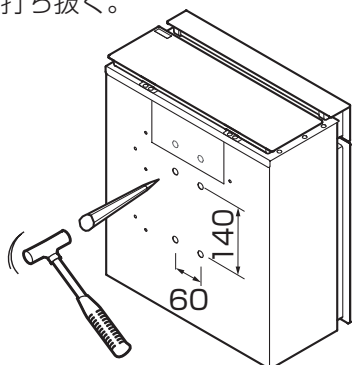
① 背面のノックアウト穴（Bの刻印の穴6か所）を打ち抜く。



施工手順 〔寸法単位：mm〕

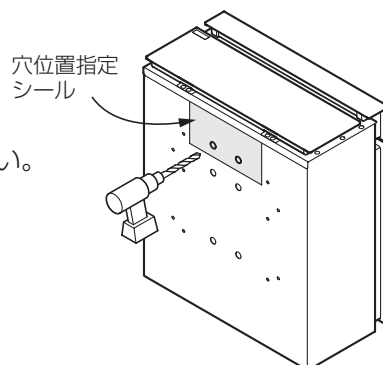
品番：CTC2600□の場合

- ①-1 背面のロックアウト穴(Bの刻印の穴4か所)を打ち抜く。



- ①-2 背面上部の穴位置指定シール内の穴位置 (2か所・φ5)に穴をあける。

- ・ポンチで穴位置決めをしてください。
- ・バリや切粉が発生した場合は取り除いてください。



お願い ●φ5以上の穴をあけないでください。
雨水侵入の原因になります。

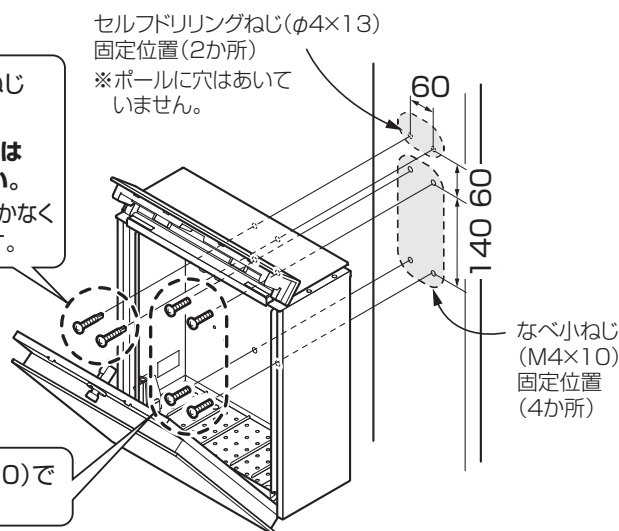
- ② 手順①であけた6か所の穴のうち、下部4か所をなべ小ねじで固定する。
※なべ小ねじはポールに取り付けてあります。

- ③ 手順①であけた6か所の穴のうち、上部2か所をセルフドリリングねじで固定する。
※セルフドリリングねじはポールに同梱しています。

お願い ●必ずなべ小ねじを先に取り付けてください。
最後にセルフドリリングねじで固定してください。

- ③ セルフドリリングねじ(φ4×13)で固定
※インパクトドライバーは使用しないでください。
締めすぎると、ねじがきかなくなるおそれがあります。

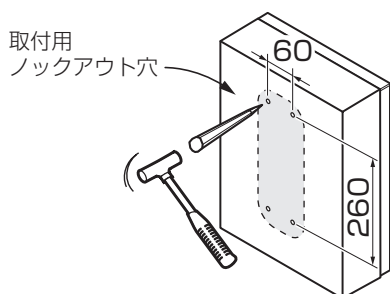
- ② なべ小ねじ(M4×10)で固定



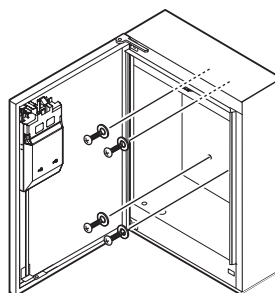
※施工後、ねじ周辺にシーリング処理を行ってください。

■コンボ (コンパクトタイプ) の取り付けかた

- ① 背面のロックアウト穴(φ5)を打ち抜く。



- ② コンボ(コンパクトタイプ)の中からねじ止めする。(計4か所)
※ねじはコンボ (コンパクトタイプ) に付属のゴム付きねじ(M4×8mm)を使用してください。



施工後の確認

- 各部のねじのゆるみがないか確認してください。
- セルフドリリングねじ固定部にバリや切粉がないか確認してください。
浮きやぐらつきの原因となるため、バリや切粉は除去してください。
- 照明器具(オプション)が点灯するか確認してください。
- (オプション)ドアホン子機・カメラドアホン子機が正常に作動するか確認してください。
- お願い** ●カメラドアホン子機については、適正な映像範囲が得られているか、実際に作動し確認してください。
- 宅配ボックスをお取り付けの場合、扉・なつ印装置に不都合がないか確認してください。
- 取扱説明書・表札チラシ・ご注文はがきをお施主様にお渡しください。

商品改良のため、仕様、外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。

パナソニックハウジングソリューションズ株式会社
外廻りシステム事業部

〒571-8686 大阪府門真市大字門真1048番地

© Panasonic Housing Solutions Co., Ltd. 2022

214-EP210S
D0621-2042